

被害者であると同時に生存者  
(サバイバー)  
VICTIM SURVIVORS

SAFE  
HORIZON

**私達が人生を変える。**

### **584件の殺人、 2,015件のレイプ、 20,702件の凶悪な暴力行為が毎年発生**

これらの数字は、ニューヨーク市における犯罪の深刻さを物語っている。根深いように見えるこれらの問題を物語っている。が、この問題のもたらす波紋の全ては、これだけでは見えない。

- ・ ほぼ3人に一人の女性が、少なくとも1回は、親密な連れ合いによる暴行を受けていることが報告されている。
- ・ ストーカーに対する接近禁止命令の80%が破られている。
- ・ 児童に対する性的虐待の比率は、最年少の児童に対するものが最も多い。

### **ニューヨーク市には、被害者を犯罪サバイバー（生存者）へと変えるプログラムがある。**

数字は、被害者について何も明らかにしない。どのような犯罪行為が行われたのか。彼等の家族にどのような犯罪行為が行われたのか。

- ・ 多くの虐待された女性の、誰にも助けてもらえないという思い込み。
- ・ 盗難に遭い、安心感を失った老人の恐怖。
- ・ 殺人で子供を失った両親の荒廃。

### **ニューヨーク市には、被害者を人間として強くするプログラムがある。**

数字は、被害者が感じている孤独を表さない。

- ・ レイプ被害者はレイプされたことで責められる。
- ・ 拷問の被害者は、過去のことを忘れて、人生をやりなおせと言われる。
- ・ 奴隷状態に置かれた移民労働者は、なぜ逃げないのかと問われる。

**被害者の権利を擁護する者が存在し、それが政策・法律・世論を変えていく。被害者となったニューヨーク市民を支援し、彼らが人生を再構築する手助けをする組織が存在する。**

**その組織がSafe Horizonである。**

“襲われて以来、私は自分の人生が破壊されてしまったと思うようになりました。私はすっかり無力感にうちのめされていました。が、SafeHorizonは、私が回復するために必要としていた支援を与えてくれました。”

Safe Horizonの刑事司法プログラム (Criminal Justice Programs)のクライアント

## 私達について。私達の対応の仕方

毎年350,000人を超える犯罪や虐待の被害者を支援している。Safe Horizonは、ニューヨーク市の最重要問題に根本的な解決策を提供している。私達は真の解決策を手にして介入する。私達は、市と市民にとって不可欠な存在である。私達は触媒の働きをすると同時に、変化をもたらす動作主でもある。私達は人生を変えていく。2003年にSafe Horizonはニューヨーク市民に対する支援活動開始25周年を祝った。

初めから、私達は、ニューヨーク市民の緊急ニーズに直接対応してきた。1970年代には、証人の半分以上が出廷していなかった。彼らは、自分達を脅してくる被告人を恐れ、法制度が彼らに無関心であることに怒りを感じていた。

この問題に対処するために、1975年にThe Victim Witness Assistance Programが Vera Institute of Justice (ヴェラ正義協会) によって設立された。このプログラムは、犯人に不利な証言をする証人の数を35%も増加させ、重要な成果を実現した。犯罪被害者のニーズを中心にすること。1978年にこのプログラムは、Safe Horizonの前身であるVictim Services Agencyとなった。

それ以降、市にとって不可欠な存在に成長してきた。今日私達は80件のプログラムを展開している。私達は各区、警察管区、学校、裁判所に被害者支援のために存在している。私達は何百もの機関と連携しており、行政のあらゆるレベル(市当局からAlbany、ワシントンD.C.にいたるまで)と提携している。

## SAFE HORIZONの使命

Safe Horizonの使命は、支援を提供し、暴力を防ぎ、犯罪や虐待の被害者とその家族や地域社会のために正義を追求することである。

Safe Horizonは、**被害者支援サービス (victim services)** という用語を普及させた。Safe Horizonが登場するまでは、犯罪被害者のニーズは見落とされることが多かった。私達Safe Horizonの指導力は、被害者の必要とする助けの提供に焦点を当てた。私達は、各地の地域社会や組織向けのモデルとなり続ける画期的プログラムを開発してきた。

私達のクライアントは市民である。知人にレイプされた女性。自分を大切にしてくれる安全な家や家族に恵まれたことの無い少女。無差別の路上強盗により娘を殺された父親。祖父に性的虐待を受けた3歳児。9/11に職を失った企業役員。

彼らはみなニューヨーカー、ニューヨークの市民だ。彼らは、虐待の全ての領域を知っている。組織犯罪暴力からストーカー行為まで、また、児童虐待からドメスティックバイオレンスまで。さらに、奴隷化から拷問まで。

私達の支援サービスと取り扱う問題の幅広さは、他に例を見ない大規模なものだ。私達は、立ち直りの過程を支援し、クライアントが必要とする支援を、彼らが求める形で提供している。

多くの被害者が負傷したり恐怖を感じて、刑事司法制度に怖気づいている。Safe Horizonは、人々が助けを必要とするときに、重要な選択肢や代案を提供する。私達は24時間体制でホットライン4本を運営している。私達はどの区でも、被害者に迅速な支援を提供し、その権利を擁護し、ひとりぼっちではないと被害者を力づけるCommunity Programs (地域コミュニティプログラム) を複数展開している。

およそ1,000名の私達の職員は、献身的な特別なグループである。彼らこそSafe Horizonの情熱であり、エネルギーであり、成果である。

**“Safe Horizonのストリートワークプログラム (Streetwork Program) は私に路上生活をやめるために必要な強さを与えてくれた。”**

Safe Horizon ストリートワークプログラムのクライアント

私達は年間101,000人以上の人々を、刑事司法権利の擁護、緊急の資金援助および法廷プログラムにおける照会作業を通じて、支援している。

“大丈夫ですか?”が私達の最初の質問である。私達は人々に、彼らが自分の人生に対処し、自分の人生を取り戻すための実践的な手段を提供する。その後、私達は、長期的な対応を展開する。

Safe Horizonは、ニューヨーク市民の生き方を変える法律制度や政策の実現を求めている。レイプに関する出訴期限法の撤廃実現に向けての尽力。ストーカー行為を禁止する法律制定の先導。虐待者の手から銃器を遠ざけること。

被害者とサバイバーに関する私達の研究は、従来の規定範囲を超えた地域コミュニティの福祉サービスを形作っていく。私達は、犯罪被害者が何を必要としているかを学習し、次にそのニーズに応える支援サービスを作り上げる。

Safe Horizonは、クライアントに対する気遣いを、しっかりしたビジネスの視点と組み合わせる。私達は、支援サービスの継続的な評価と改善に尽力している。近年、私達は、自分達のプログラム全てを審査し、その効果を評価し、それらを一層強化するための新戦略を展開する専門家チームを設置した。

Safe Horizonの使命は不変であるが、私達のプログラムは変化している。今日、犯罪の性質は以前とは異なっており、問題はより複雑化している。これらの変化に対する私達の取り組みは、どの組織とも違う。私達は、まず被害者の声に耳を傾け、彼等のニーズを見極める。

私達はこれからも私達の支援サービスを発展させ、吟味し、改善し続ける。新しいシェルター、クライアントや市を援助するための医療保健・精神保健および警察の各リソースを組み合わせた新しいイニシアティブなど。

## SAFE HORIZONホットライン

### 私達の支援サービスへの入口

- ・ Safe Horizonはニューヨーク市のために重要なホットラインを設置している。これらは毎日24時間無休である。私達は年間25万件以上の電話を受けている。1件の通話は平均6秒である。
- ・ 私達のホットラインは、助けを求める人すべてのために存在している。パートナーに暴力を振るわれている女性、性的に暴行された少年少女、盗難にあった高齢の住人、絶望を感じている人すべてのためにある。
- ・ クライアントの多くにとって、電話が、虐待される境遇を逃れる第一歩となる。

### ドメスティックバイオレンスホットライン

800-621-HOPE (4673)

800-810-7444 TDD

### 犯罪被害者ホットライン

212-577-7777

### 9/11同時多発テロ被害者支援ホットライン

866-689-HELP (4357)

### レイプと性的暴力ホットライン

212-227-3000

“ それ[Safe Horizon]は、救援活動として最も能力のある組織であると広く考えられている。”

Time Magazine

9/11プログラムについて、2001年11月5日

## 9/11 プログラム

**言語を絶する惨事からの再生。**2001年9月11日、ニューヨーク市の人々は、想像も出来ないような攻撃の犠牲となった。何千人もの人々が家族や友人をツインタワーの中で失った。何千人もの人々が家や職場を失った。さらに何百万人もの人々が、慣れ親しんでいた安心感を失った。彼らには助けが必要だった。が、市の力に頼るだけでは助けは不十分だ。

Safe Horizonは、市と州が私達に被害者への具体的な支援と精神的な支えを提供するよう要請してきたため、この悲劇に対して最も効果的に対応した存在のひとつとなった。

私達は、ニューヨーク州犯罪犠牲者委員会 (Crime Victims Board) と United Way/New York Community Trust September 11th Fundの支援を得て、家族支援センターの設置を手助けした。このセンターで私達は真っ先に迅速な経済的支援に着手した。私達は、危機カウンセリングとグリーフ(悲嘆)カウンセリング、住宅供給支援および緊急の葬儀費用補償をすばやくやり遂げた。

センターへ来ることができる人々が何千人もセンターを訪れた。が、それ以外にも、9/11以降ひどいストレスに苦しむ大勢の人々は、マンハッタンのセンターまで来ることさえできなかった。

## 9/11プログラム

- ・ 家族支援センター (Family Assistance Center)
- ・ 区支援センター (Borough Assistance Centers)
- ・ 9/11サポートホットライン (September 11th Support Hotline)
- ・ 対応再生プログラム (Response and Renewal Program)
- ・ 継続的再生プログラム (Ongoing Recovery Program)
- ・ 地域コミュニティトラウマ対応訓練 (Community Trauma Response Training)

“Pier 94にある家族支援センターで私達が見たものは、Safe Horizonの9/11への素晴らしい対応のほんの氷山の一角に過ぎない。そして、それら全てが、Safe Horizonが長年にわたり、暴力や犯罪、心痛によって人生を損なわれたニューヨーク市民に対して提供してきた先駆的な成果を反映している。”

Jack Rosenthal, The New York Times Co. Foundation会長

9/11の後、自宅周辺を離れることを不安がるニューヨーク市民を助けるために、Safe Horizonは**区支援センター (Borough Assistance Centers)**をBrooklyn, Queens, BronxおよびStaten Islandに開設した。これらのセンターで人々は、より自宅に近い場所で家族支援センターと同じ支援を受けることができた。現在、これらのセンターは引き続き、サポートグループや個人カウンセリング、照会を年間600人以上に提供している。

私達は**9/11サポートホットライン**を、被害者が必要とする支援を自ら見出すための中心的な情報源として開設した。開設後1年間で、このホットラインを通じてSafe Horizonは、カウンセリング、経済的支援、職業訓練支援を求める11万件を超える電話に対応した。

私達は1億ドルを超える金額を、September 11th Fund およびRobin Hood Foundationからの助成を通じて、家族を失った46,000人のニューヨーク市民に対して支給した。あるいは、住居を失った者、職を失った者、家族が頼っていた医療保険を失った者に。

新たなテロ警戒のために9/11の心の傷が生々しく癒えずにいる中、私達は介入の進行を速めている。人がトラウマに対処することを可能にする要因に関する私達の研究は、地域社会全体の豊かな回復力を振興するプログラムに継続的に結びついている。

Safe Horizonは**対応再生プログラム (Response and Renewal Program)**を創設し、180を超える学校、企業、公共機関、NPOにおいて恐怖と不安への対処について9000名の人々を支援している。

The New York Times 9/11 Neediest Fundの支援を得て、私達は、支援サービス提供者向けにクライアントの治癒を助けるためのリソースを提供する**地域コミュニティトラウマ対応訓練 (Community Trauma Response Training)**を創設した。

私達は、自分達のコミュニティの外部に出ることを恐れ、ニューヨークでは起こりえないと思っていた出来事の発生に衝撃を受けている移民を助けるために、紛争により生じる難民や拷問サバイバー向けに私達の**Solace Program**を拡充した。

“それが起きたとき私はあまりにも恐ろしくて、Safe Horizonのような、私達を助けてくれる素晴らしいところがあるとは想像もできなかった”

Safe Horizon によるSolace プログラムと 9/11プログラムのクライアント

私達の青少年指導者養成プログラムは70名の青少年に対し、助けを求めたがらない仲間の手を差し伸べることができるように、トラウマに対する理解を深め、さまざまなトラウマの徴候を認識する教育機会を提供した。

私達は September 11th Fundの**継続的再生プログラム (Ongoing Recovery Program)** と連携して、遺族や離職者、重傷者向けに、職業カウンセリング、職業訓練、照会サービス、第二言語としての英語学習、所得補助、金銭的に余裕の無い者向けの健康保険などの支援策に関する情報を提供している。

市は今後も引き続き今後何年もの間、同時多発テロ後の後遺症への対応に尽力するだろう。またSafe Horizonは今後も、家族を失った者から、変動する世界と安全の新しい定義に順応しようとする者全てに至るまでの、あらゆるニューヨーク市民のためにここに存在し続ける。

### 全国規模のリソース

9/11はニューヨーク市だけではなく、国全体を変えてしまった。Safe Horizonのインフラ、職員および、政府やその他支援サービス提供者との連携経験によって、私達は、他のコミュニティから期待される組織となった。危機管理から私達が学んだことは、災害時に個人とグループを組織し、コーディネートし、訓練するためのモデルである。

私達は連邦政府や財団法人と連携している。私達は、国内各地の高リスクコミュニティ向けに自分達の眼識を提供し、教育課程を計画し、トレーニング資料を作成する。これらのコミュニティが自らの潜在的な可能性や能力について思い巡らし、その持てるリソースをコーディネートし、緊急時対応要員を育成し、さらに新しい事態が発生した際には技術的支援を提供することができるよう、私達はいつも支援する用意がある。

“多くのニューヨーク市民が直面している課題に対する最善の解決策は、しばしば、企業社会と非営利部門の協調から生まれる。9/11の長期化する悪影響と将来的なテロの脅威、経済的影響の間で、取り組むべき課題は非常に多い。The New York Bankers Associationは以前から強力な提携関係をSafe Horizonとの間に築いており、私達はこの2つの組織が今後も協力していくための新しい画期的な方法を探っている。”

Michael P. Smith, New York Bankers Association会長

SEPTEMBER 11TH FUNDとTHE ROBIN HOOD FOUNDATIONからの助成を通じて、私達は1億ドルを越える救済用の資金を9/11の46,000名の犠牲者に支給することが出来た。

“Safe Horizonによる助けが無ければ、私がこうして生きていられたかどうかはわからない”  
Safe Horizonのドメスティックバイオレンスシェルターのクライアント

## 精選されたプログラムの数々

Safe Horizonのさまざまなプログラムは、ひとつながりの幅広い配慮を提供している。悲痛な体験を抜け出し、自信と尊厳、そして、過去の成果を足場とする勇気を取り戻す方法を人々が見出す上で手助けとなる支援。

## ドメスティックバイオレンス 新しい機会、新しい人生

**女性が家庭内で暴力に遭遇する確率は、路上で暴力に遭遇する確率の9倍である。**

ドメスティックバイオレンスは単なる肉体的虐待ではない。それは、言葉による嫌がらせから身体的暴行、レイプ、殺人にまでいたる一連の恐ろしい残虐行為である。ドメスティックバイオレンスの発生には、人種、社会経済的環境、人口統計的要因は関係ない。

Safe Horizonはドメスティックバイオレンス被害者が、危険で、しばしば生死に関わる状況から逃げ出すために支援する。そして、これら被害者が、これまで決して持つことのできなかつた独立性と自尊心を確保するためのツールを提供する。

**Safe Horizonのドメスティックバイオレンスホットライン**は年間14万件を超える電話、一日につき400件以上の電話に対応している。配偶者に傷つけられた人は、昼夜を問わず私達に電話できる。

## 精選されたプログラムの数々

- ・ドメスティックバイオレンス
- ・児童への身体的虐待と性的虐待
- ・レイプと性的暴力
- ・刑事司法プログラム
- ・青少年イニシアティブ (Youth Initiatives)

私達の最初の関心事は、クライアントの安全である。**Project SAFE**は、警察への届出後48時間以内の新しい鍵の取り付けや、鍵の無料交換によって、2,200人を上回る犯罪被害者の自宅での安全確保に努めている。

被害者の中には家では決して安全を確保できない者もある。家を出ることは、難しい選択であり、大きな第一歩でもある。多くの場合、それは、唯一の経済的な支えから自ら立ち去ることを意味する。被害者は多くの場合、配偶者によって外部社会から遮断され、孤立している。そのため、彼女らが恐怖を覚え、恥ずかしがり、誰にも頼れないと思いつつも無理は無い。

**Safe Horizonのドメスティックバイオレンスシェルタープログラム**は、ドメスティックバイオレンス被害者に対する幅広い支援を備えた明確な逃げ道である。

私達は、ドメスティックバイオレンスシェルター提供者としては国内最大であり、毎年2,000人を超える女性と子供に住居を提供している。私達のシェルタープログラムは、単に安心して眠れる場所を提供しているだけではない。**Safe Horizonの就職準備プログラム (Job Readiness**

Program) は、コンピュータトレーニング、高等学校に相当する授業、第二言語としての英語学習、ならびに、履歴書作成・経歴管理計画・面接技術に関するワークショップを備えたシェルターを中心としている。クライアントはまた、カウンセリング、医療支援および育児支援も受ける。

また、全てのシェルターには、クライアントの家族のために暖かい、行き届いた環境を提供してくれる保育担当職員がいる。

多くのドメスティックバイオレンス被害者にとって、提訴することは身のすくむような経験である。彼らは、心を持たないように見える虐待者に対して法制度の中で対峙することになる。そのための弁護士料も、彼女らは賄えないかもしれない。

**ドメスティックバイオレンス法プロジェクト (Domestic Violence Law Project)** は、保護命令と支援、子供の養育権および離婚手続きのために無料で法的支援を提供している。ドメスティックバイオレンス被害者が安全を確保し、自力で問題に立ち向かい、自分の子供を世話できるように支援を提供することは、Safe Horizonによる取組みの一環である

**ドメスティックバイオレンス警察プログラム(Domestic Violence Police Program)**は、ケースワーカーを警察管区に投入し、警察に直結するリソースとして行動する専門家をドメスティックバイオレンスの対処にあたらせる。彼らはドメスティックバイオレンスを知らせる電話を受けて、多くの場合警察官と共に家庭を訪問する。このユニークな連携は、毎年 52,000人を超えるドメスティックバイオレンス被害者を助けている。

## 児童に対する身体的暴力および性的虐待 癒しの場

毎年53,000人を上回る子供の虐待またはネグレクトがニューヨーク市内で報告されている。それだけでも十分に驚くべき数字だ。児童虐待事例の大部分は決して明るみに出ないため、実際の比率はこれよりもずっと高い。

1991年の研究で、Safe Horizonは性的虐待を受けた子供はさまざまな異なる機関や施設向けに自分の恐ろしい経験を詳述したり、思い出す必要に繰り返し迫られていること 場合によってはそれが24回にも達していることに気づいた。彼らの恐怖を沈静させるべき取調べがかえって彼等の恐怖を増大させている。

私達は都市環境における児童の権利擁護のための新モデルである**児童権利擁護センター (Safe Horizon Child Advocacy Center)**を創設した。私達のセンター3ヶ所(Brooklyn, Queens, Staten Island) を通じて私達は非常に重要な情報を収集し、同時に被害者に安心感を与えている。これらのセンターは警察、児童サービスに関する市行政当局者、地方検察局担当者、医師をひとつの場所に集めて、子供達が体験を一度語るだけで済むように手配している。

これらのChild Advocacy Centersは児童への性的虐待と身体的虐待を年間2,000件以上も調査している。面接のプロセスは簡素化されているため、子供達は十分に保護され、犯人は過去の過ちに対する責任を負うことになる。

これらのセンターは、子供にやさしい安全な環境の中で即時に支援を児童に提供する。クライアントとその家族は支援、カウンセリング、権利擁護のすべてを一ヶ所で受けることができる。熟練した思いやりある医師が、法廷で用いられる証拠を集め、子供達に自分が健康だと教えてやるために健康診断を実施する。

ニューヨーク市内で児童虐待の被害者が、これほどの水準の総合的なケアを受けることのできる場所は他にない。

## レイプと性的暴力

### 支援: 全ての段階における実施

全米では2分に1回誰かがレイプされている。レイプ被害者は多くの場合、恐怖に打ちのめされている。フラッシュバック、無感覚と衝撃。彼女らは多くの場合、長期にわたる取調べや公判は耐え難いように思われるため、警察には行きたがらない。

これがSafe Horizonが、市全域の被害者向け支援を提供するためにレイプと性的暴力 ( Rape and Sexual Assault ) ホットラインを開設した理由である。

病院もレイプ被害者にとっては威圧的な場所となる場合がある。大部分の人が家の近くの場所の方が助けを求めやすいと感じるため、Safe Horizonはレイプ危機プログラム ( Rape Crisis Program ) の中心機能をニューヨーク近郊に置いている。

Safe Horizonのプログラムは全米各地と世界各地のさまざまなグループにより研究対象となっている。

オーストラリア、ベルギー、ブラジル、コロンビア、デンマーク、イギリス、香港、イタリア、日本、モロッコ、スコットランド、韓国、ベネズエラ

“Safe Horizonは、私が家庭内や路上で目撃した暴力に関する自分の感情を表現することを私に教えてくれた。彼らは私に、暴力を使わずに対立を止める方法を教えてくれた。”

-Safe Horizon青少年イニシアティブのクライアント

これは毎年400人を超える被害者が支援を見出す場所である。各場所には有資格のレイプ危機カウンセラー ( rape crisis counselor ) がいる。私達は襲撃の直後から援助し、被害者が自らの人生の主導権を握ることができるよう後押しして継続的に支援する。そして私達は、過去に襲われた被害者が現在自分の苦しみと対処しているプロセスも手助けする。

## 刑事司法プログラム ( Criminal Justice Programs )

### 制度を切り抜けるには

凶悪犯罪は5秒に1回発生している。市の刑事司法制度は大規模で、複雑である。被害者と証人を怖気づかせることもある。

Safe Horizonの、刑事司法関係者とのユニークな連携を通じて、私達は他に例を見ない実践的な支援を法廷内で提供している。私達は、Brooklyn刑事裁判所内でパイロットプロジェクトとして開始した。今日では、市内のあらゆる刑事裁判所と家庭裁判所、ならびに、25の警察管区で活動している支援組織は私達だけである。

私達のサービスは法廷制度全域において被害者を支える。つまり、保護命令のための権利擁護、医療費・資産の被害・その他出費について賠償請求する手助け、子供と親権を持たない親の監督下での安全な相互訪問実現。

大部分の被害者は法廷で自分の虐待者に直面することを恐れている。Safe Horizonの 証人レセプションセンター ( Witness Reception Centers ) は、毎年100,000人を超える被害者を支援している。私達のケースマネージャーは、これ以上の虐待を予防するために、精神的支援、危

機介入および安全対策を提供する。彼らは、公判に対する不安を少しでも取り除くために、逮捕や法廷プロセスを説明する。

私達の調停・仲介 (Mediation) サービスは、非暴力的対立を解決し、高コストで長期間に渡る公判を回避しようとするニューヨーク市民を支援しており、法廷に代わる効果的な選択肢である。Safe Horizonが支援している調停・仲介のほとんどは、最終的に合意に達している。

### 青少年イニシアティブ (Youth Initiatives)

自分が安全ではないと感じている青少年は、学習することができない。彼らが暴力に対処するように強制された場合には、そのことは怒り、憂鬱、学業不振となって現れる。こうした怒り、憂鬱、学業不振は、彼らが強い大人に成長することを妨げる。

Safe Horizonの青少年イニシアティブ (Youth Initiatives) は、対立を非暴力的に解決するツールを与えることによって青少年の復元力・回復力を養っている。このイニシアティブは、さらに、人生における暴力の恐怖を体験しながらも、彼らが自分の成功に必要なスキルを育てていくことに支援する。

### 学校を中心とするプログラム (SCHOOL-BASED PROGRAMS) : 学習を安全なものにする

毎年Safe Horizonは、14,000人を超える学生が、安全な思いやりある環境の中で、組織犯罪暴力、性的虐待といじめに対処する手助けをしている。

Violence Prevention(暴力防止)は、カウンセリングを受けたり、紛争解決スキルを学習したり、暴力を減らすための戦略を策定するための特別な場所を学校内に設けることによって、毎年7,000人の虐待された青少年を助けている。

Youth Leadership (青少年指導者養成) は若年層に対して、暴力防止と暴力発生時に暴力を発散する方法について同級生に語りかけるように教える。

調停プログラム (Mediation Programs) は、学生間の紛争を調停するための研修を若者向けに行っており、毎年5,000人の若者が学校内や地域での暴力を削減する手助けをしている。

### ストリートワーク (STREETWORK) : 新しいチャンス

ホームレスの若年層の暮しは、深刻な暴力と虐待に晒されることが多い。一旦路上生活を始めると、容易に売春や薬物中毒、犯罪に手を染めやすくなる。

Streetworkは、ホームレスの若年層と手を差し伸べようとする、これまでにほぼ誰も目を向けてこなかった分野でのユニークな臨床プログラムである。これは私達のイニシアティブの中でも最も忙しいイニシアティブであり、毎月450件のケースを扱っている。私達の作業により、Streetworkのクライアント女性の73%およびStreetworkのクライアント男性の81%が人生のいずれかの時点で虐待されたことがあることが明らかになっている。

私達の2ヶ所のドロップインセンターと2件の住宅プログラムが、年間15,000人を超える13~23歳までのホームレスの人々を助けている。

クライアントは、暴力の連鎖を止めるための実践的な支援、医療ケア、サポートグループの支援、教育プログラム、救命用の必需品、シャワー、食料品と衣料品を受けとることができる。これらは全て、断定的な判断の無い中立的な環境で行われる。これにより、路上生活を止めるために不可欠な自尊の感情と強さが養われる。

### ストリートワーク (STREETWORK)

- ・ 2ヶ所のドロップインセンター (1ヶ所はマンハッタン中央部、もう1ヶ所はLower East Sideにある) は、毎日80~120人の若いホームレスを迎えている。
- ・ 26台のベッドを備えた緊急シェルターが完備。クライアントはここに最高90日間滞在できる。
- ・ 毎年路上で10,000件の接触や連絡がある。

### SAFE HORIZON にのみできること

- ・ 殺人事件の遺族プログラム (Families of Homicide Victims Program)
- ・ 地域コミュニティプログラム (Community Programs)
- ・ 反人身売買イニシアティブ (Anti-Trafficking Initiative)
- ・ 拷問のサバイバーや難民トラウマのサバイバーのための安堵プログラム (Solace Program for Survivors of Torture and Refugee Trauma)
- ・ 反ストーカー行為プログラム (Anti-Stalking Program)

### Safe Horizonにのみできること

Safe Horizonは、他のどの組織も提供していないイニシアティブを提供している。私達のクライアントと連携することによって、また、満たされないニーズの存在を明らかにする研究を通じて、さらには、有効な幅広い解決策を探るためにその他の組織とチームを組むことによって。

### 殺人事件の遺族プログラム (FAMILIES OF HOMICIDE VICTIMS PROGRAM)

親、子供、兄弟姉妹を殺害されることは、途方も無い悲嘆と孤独の感情をもたらす可能性がある。毎年、殺人事件の遺族プログラムは1,300人の人々に最も本格的で長期的な支援を提供している。

Safe Horizonは、家族や愛する者を殺人で失った市内の人々全員に私達が支援を提供できる存在であることを知ってもらうために、アウトリーチレターを送っている。私達は、彼らがこのつらい時期を、カウンセリングや、同じ苦しみを味わっている人々に彼らが自身の体験を語る機会となるサポートグループを通じて、生き延びることができるよう手助けする。さらに、彼等の立場を楽にするための具体的な支援策も提供している。葬儀費用を補うための助成金申請。刑事司法制度の仕組みに関する被害者側の理解の指導。法廷への付き添い。

### 地域コミュニティプログラム

Safe Horizonの地域コミュニティプログラムは、犯罪被害者にとって、裁判所や病院、警察管区に代わる重要な救済手段である。これらプログラムは市内5つの区全てに配置されている。これは人々が自分の住んでいる場所で支援を受けたがるからである。このプログラムは年間4,000人を超えるニューヨーク市民を、危機介入、権利擁護、個別カウンセリングとグループカウンセリング、緊急支援および照会を通じて助けている。これらプログラムは、私達のクライ

アント全員のニーズに対応するために、他の地域組織とも連携して動いている。

### 反人身売買イニシアティブ

人身売買は、現代の奴隷貿易である。毎年、主に女性と子供から構成される50,000人の人々が強制的にアメリカ合衆国に連れてこられたり、良い賃金やチャンス提供という甘言に釣られて入国している。彼等のほとんどは、結局ニューヨーク市内で極端な低賃金や無給で働いたり、売春や家政婦、労働搾取型工場などの劣悪な条件から逃げられない状況に陥ることになる。彼らは、肉体的にも精神的にも性的にも虐待される。この状況から逃げられる見込みはほとんどない。

Safe Horizonの新しい**反人身売買イニシアティブ (Anti-Trafficking Initiative)**はその種のものとしては初めてのものである。このイニシアティブは、直接的な救急業務(シェルター、危機カウンセリング、法的支援、権利擁護を含む)と法的処置とを組み合わせたユニークなものである。私達は、人身売買の被害者を見分けて、必要な支援を彼らに提供するために、その他の支援サービス提供の担当者にも研修を行っている。

### 拷問のサバイバーや難民トラウマのサバイバーのための安堵プログラム (SOLACE PROGRAM FOR SURVIVORS OF TORTURE AND REFUGEE TRAUMA)

ニューヨーク市内には推定で何千人もの拷問を経験した生存者(サバイバー)が滞在していると考えられる。拷問や戦争犯罪を体験してきた人々は、新しい慣習や不慣れな環境と対処する際に、非常に激しい感情的苦痛やトラウマを味わう可能性がある。

**Safe HorizonのSolace Program**は、毎年200人を超える生存者、彼らの家族やその地域コミュニティを支援している。私達のカウンセラーの多くは、クライアントと同じ移民コミュニティの出身である。多くのカウンセラーも、彼らと同じ経験をしている。これらのカウンセラーは、精神保健面での支援を提供し、家庭訪問を行い、政治的保護の可能性について評価する。また、彼らは、難民の法的権利や選択肢に対する理解を手助けする。

### 反ストーカー行為プログラム

ストーカー行為は、通常の生活のあらゆる側面を破壊する犯罪である。見知らぬ人間、友人、あるいは、配偶者が加害者になる可能性もある。最終的にストーカー行為は、被害者を恐ろしい恐怖で圧倒する。

**Safe Horizonの反ストーカー行為プログラム**は、この問題に対応する数少ないプログラムである。毎年1,600人を超えるストーカーの被害者が私達の犯罪被害者ホットラインに電話をかけてくる。

毎年、私達は、総合的な保護を2,600人以上の被害者に提供している。安全対策から、保護命令、法廷での権利擁護にいたるまで。短期的な個人カウンセリングから危機介入、さらには自動的に911番(警察)につながる携帯電話まで。

“部外者は、悲嘆がどのような働きをするかを理解しない。どのような種類の悲嘆にも共通するいくつかの段階があるが、私達の場合、死が他の人間によってもたらされたという点が、他とは異なる。私は、兄が死亡したときに、生きるのを止めた。次に、私は、Safe Horizonサポートグループに通い始めた。このサポートグループが、私が最悪の時期を乗り越えるための助け

となった。私は自分が前よりもずっと強くなったと感じている。”

Safe Horizonの殺人事件の遺族プログラムのクライアント

“レイプされた後、私はどうしてかよいかわかりませんでした。病院や警察へ行くことが怖くて私はSafe Horizonに電話しました。彼らは私を電話を通じてすぐに助けてくれました。一時間も経たないうちに、支援者の一人と落ち合って、その人が近くの病院まで私に付き添ってくれました。彼らのおかげで、一人ぼっちではないと信じられたのです。”

Safe Horizonのレイプ危機プログラム ( Rape Crisis Programs ) のクライアント

25年の間、Safe Horizonは国内有数の被害者支援機関として活動してきた。

私達は全国的な変化を求めて 何百万人もの人々の人生を変え、被害者が生存者となることを手助けすることによって 触媒の役割をしている。

私達の使命は長い年月を経ても変わっていない。だが、私達のサービスは、ニューヨーク市民のニーズの変化に対応するために進化している。5つの区で合計80のプログラムを展開することによって、私達は、犯罪や虐待の被害者が総合的な、しかるべき保護を、必要な場所で必要な時に確実に受けられるよう努めている。

たった4歳で性的に虐待されることを想像してください。

配偶者にレイプされることを想像してください。

テロ攻撃の被害者となることを想像してください。

私達のクライアントは、こうしたことを想像する必要はない。なぜなら、彼ら自身にとって、それらは現実そのものだから。これらは、彼らが直に体験したことだ。

こうした人々はSafe Horizonが支援する多くの個人のごく一部にすぎない。これらは私達が変わっていく人生である。

私達が自分の仕事を続けていくことができるのも、唯一、貴方の支援が得られるからだ。

**是非ご参加ください。解決策の一部として貢献してください。**

**それがあなたにできる最高の贈り物です。**

あなたの時間.

あなたのお金

あなたの能力.

あなたからの電話.

**212-577-7740**

## **1975年**

Lucy N. Friedmanが、Vera Institute of Justice のブルックリンを中心とするパイロットプロジェクトを指揮して、被害者に公判日を通知することがより多くの被害者の出廷につながり、それにより、告訴断念が減少するかどうかを調査した。

### 1978年

Friedmanはプロジェクトを拡大し、市長Ed Kochの連携と協力を得て、5月26日にVictim Services を設立した。他にもJoseph S. Iseman, Esq.; Michael Smith; Herb Sturz; Most Reverend Joseph M. SullivanおよびJeremy Travisが設立者として参加した。24時間対応の犯罪被害者ホットラインが開設された。Safe Horizonの初のChildren's Centerがブルックリン刑事裁判所に開設された。

### 1979年

殺人事件被害者の未亡人からの深夜の電話に刺激され、Victim Servicesが「殺人事件の遺族 (Families of Homicide Victims) プログラム」を設立した。Victim Servicesは、犯罪被害者のための鍵交換サービスを提供するProject Safeも開設した。

### 1980年

コミュニティオフィスが、犯罪被害者に対する緊急支援とカウンセリングを提供するKingsbridge, Harlem, Jamaica, Claremont, Washington HeightsおよびBedford-Stuyvesantに開設された。

### 1981年

多くの事例において研修を受けた調停者が迅速な解決策を提供し、それにより対立が暴力的な襲撃へと発展することを予防できると信じて、Victim Servicesは初の成人向け調停センター (Mediation Center) をBrooklynに開設した。

### 1983年

Victim ServicesはTravelers Aidと合併して、既存のサービスを旅行者向けにまで拡大し、通常の旅行者、ホームレスの人々、短期滞在者、家出した青少年および移民への支援も行うようになった。Victim Servicesは*The Law Enforcement Response to Family Violence — A State-by-State Guide to Family Violence Legislation*を出版した。

### 1984年

ドメスティックバイオレンス警察プログラムが、Victim Servicesのカウンセラーとニューヨーク警察が協調して、ドメスティックバイオレンスを通報する電話に対応できるようにするために開始された。Safe Horizonのホームレスの人々や路上生活の若年層向けプログラムであるストリートワーク (Streetwork) が開設された。

### 1987年

Jackson Heights コミュニティオフィスが開設された。

### 1988年

Brooklyn Crime Victims Center (現在のCounseling Center) が、犯罪被害者のトラウマを治療する初の認可を受けた精神衛生クリニックとなる。

### 1989年

Safe HorizonがEmergency Housing Transfer Programを開始した。これは、暴力被害を受けた女性とその他被害者向けにニューヨーク市の公営住宅を提供する権利擁護プログラムである。このプログラムはNew York City Housing Authorityの支援を受けている。

**1992年**

公立中学校の学生による紛争解決プログラム発展を支援する協力活動Project STOPが創設された。

**1993年**

親権を持たない親とその子供たちが会うための安全な場所を提供するSupervised Visitationプログラムが策定された。

**1994年**

Safe Horizonの24時間無休のドメスティックバイオレンスホットラインが創設された。

**1996年**

Safe Horizon は、初めてで、しかも、最大の児童権利擁護センター（Child Advocacy Center）をNortheastに開設した。このセンターには、法執行機関および児童保護サービス出身のスタッフが駐在している。

**1997年**

Safe Horizonの犯罪被害者ホットラインは100万件目の電話を受けた。

**2000年**

6月6日にVictim Services は、その使命と幅広いサービスをより正確に表すために、公式にその名称をSafe Horizonに変更した。

**2001年**

Safe Horizonは9/11の同時多発テロの余波に対応した。実践的な支援から、地域を中心とするトラウマ対応に至るまで、Safe Horizonは尽力した。

**2002年**

Safe Horizonの25周年。

## SAFE HORIZON 組織図

### 9/11プログラム (9/11 Programs)

家族支援センター (Family Assistance Center)  
区支援センター (Borough Assistance Centers)  
9/11サポートホットライン (September 11<sup>th</sup> Support Hotline)  
対応再生プログラム (Response and Renewal Program)  
コミュニティトラウマ対応トレーニング (Community Trauma Response Training)  
継続的再生プログラム (Ongoing Recovery Program)  
CATS (Children and Adolescent Trauma Treatment Program) プログラム

### ドメスティックバイオレンス

ドメスティックバイオレンスホットライン  
プロジェクトSAFE  
ドメスティックバイオレンスシェルタープログラム  
就職準備プログラム (Job Readiness Program)  
ドメスティックバイオレンス法律プロジェクト (Domestic Violence Law Project)  
ドメスティックバイオレンス警察プログラム (Domestic Violence Police Programs)  
ドメスティックバイオレンス説明責任プログラム (Domestic Violence Accountability Program)

### 児童への身体的虐待と性的虐待 (Child Physical and Sexual Abuse)

児童権利擁護センター (Child Advocacy Centers)  
児童権利擁護リソースコンサルテーションセンター (Child Advocacy Resource and Consultation Center)

### レイプと性的暴力 (Rape and Sexual Assault)

レイプと性的暴力ホットライン (Rape and Sexual Assault Hotline)  
レイプ危機プログラム (Rape Crisis Programs)  
レイプ被害者権利擁護プログラム (Rape Victim Advocate Programs)

### 刑事司法プログラム (Criminal Justice Programs)

犯罪被害者ホットライン (Crime Victims Hotline)  
児童センター (Children's Centers)  
証人レセプションセンター (Witness Reception Centers)  
監視下での視察 (Supervised Visitation)  
調停  
損害賠償  
移民法プロジェクト

### 青少年イニシアティブ (Youth Initiatives)

学校を中心とするプログラム (School-Based Programs)  
ストリートワーク (Streetwork)

**Safe Horizonのみにできること ( Only at Safe Horizon )**

殺人事件の遺族 ( Families of Homicide ) プログラム  
地域コミュニティプログラム ( Community Programs )  
反人身売買イニシアティブ ( Anti-Trafficking Initiative )  
拷問のサバイバーや難民トラウマのサバイバーのための安堵プログラム ( Solace Program for Survivors of Torture and Refugee Trauma )  
反ストーカー行為プログラム ( Anti-Stalking Program )  
カウンセリングセンター ( Counseling Center )

[www.safehorizon.org](http://www.safehorizon.org)

2003年と2004年の財務状況

貸借対照表要約

2003年6月30日までの1年間と2002年〔単位：1000ドル〕

資産

	2003年6月30日	2002年6月30日
現金	\$584	\$426
政府機関、企業、機関に対する債権	9,116	12,599
時価評価での投資額	9,884	5,820
永続信託の受益権	495	509
固定資産(正味)	3,179	2,775
その他資産	5,725	5,000
<b>総資産</b>	<b>\$28,983</b>	<b>\$27,129</b>

負債と純資産

負債	2003年6月30日	2002年6月30日
未払勘定と発生経費	\$6,064	\$6,825
支払うべき補償	3,561	2,992
繰延収益と借入金	350	449
その他負債	1,269	1,237
<b>総負債</b>	<b>\$11,244</b>	<b>\$11,528</b>
純資産	2003年6月30日	2002年6月30日
非拘束純資産	\$9,762	\$7,152
一時拘束純資産	7,399	7,857
永久拘束純資産	578	592
純資産合計	17,739	15,601
<b>総負債と総純資産</b>	<b>\$28,983</b>	<b>\$27,129</b>

営業報告書要約

2003年6月30日までの1年間と2002年〔単位：1000ドル〕

総収入とその他援助

	2003年6月30日			2002年6月30日		
	一般プログラム	9/11プログラム	合計	一般プログラム	9/11プログラム	合計
寄付と寄贈	5,435	1,633	7,068	5,570	7,591	13,161
政府やその他サービス収益	34,848	8,628	43,476	32,216	6,057	38,273
契約所得	1,525		1,525	1,454		1,454
投資とその他所得	709		709	267		267
<b>総収入とその他援助</b>	<b>42,517</b>	<b>10,261</b>	<b>52,778</b>	<b>39,507</b>	<b>13,648</b>	<b>53,155</b>
<b>経費</b>						
プログラムサービス	31,081	9,529	40,610	30,035	6,705	36,740
管理運営と一般	7,066	1,835	8,901	5,759	1,374	7,133
資金調達	1,534		1,534	797	219	1,016
固定資産と減価償却の計上前の総経費	39,681	11,364	51,045	36,591	8,298	44,889
固定資産の計上	(1,131)	(420)	(1,551)	(1,638)	(371)	(2,009)
減価償却と償却費用	1,055	91	1,146	910	37	947
<b>総経費</b>	<b>39,605</b>	<b>11,035</b>	<b>50,640</b>	<b>35,863</b>	<b>7,964</b>	<b>43,827</b>
非拘束純資産の変動	2,351	259	2,610	2,667	153	2,820
一時拘束純資産の変動	575	(1,033)	(458)	977	5,531	6,508
永久拘束純資産の変動	(14)		(14)		0	0
純資産の変動	2,912	(774)	2,138	3,644	5,684	9,328
年度初めの純資産	9,917	5,684	15,601	6,273		6,273
<b>年度末純資産</b>	<b>12,829</b>	<b>4,910</b>	<b>17,739</b>	<b>9,917</b>	<b>5,684</b>	<b>15,601</b>

## 役員会メンバー

### Officer

会長 Brook McMurray  
副会長 Steven C. Parrish  
会計担当(Treasurer) Eugene Pickens  
書記官 (Secretary) Linda A. Fairstein

### メンバー氏名一覧

(氏名略)

Chief Executive Officer Gordon J. Campbell

## サポーター

### 100 万ドル超の終身後援者(Benefactor)

私達は、総額 100 万ドル超を寄付してくださった以下の基金と企業に厚く御礼申し上げます。  
このご寄付がなければ、私達の業務は成り立たなかつただろう。  
(企業、基金名、略)

### 一般的な業務とプログラムへの支援

以下の基金や企業、個人寄付者の素晴らしい篤志によって、私達はクライアントとその家族が人生を取り戻す手助けができた。場所に限りがあるため、100 ドル未満の寄付をしてくださった友人やサポーターの皆様のお名前をここに載せることはできない。ここに載せた寄付者のお名前は、2002 年 7 月 1 日から 2003 年 6 月 30 日までのものである。最新のサポーター名簿については、ウェブサイト [www.safehorizon.org](http://www.safehorizon.org) をご覧いただきたい。

10 万ドル超の寄付 Chairman's Circle (氏名等略)  
50,000~99,999 ドルの寄付 President's Circle (氏名等略)  
25,000~49,999 ドルの寄付 Benefactors (氏名等略)  
10,000~24,999 ドルの寄付 Stewards (氏名等略)  
5,000~9,999 ドルの寄付 Guarantors (氏名等略)  
2,500~4,999 ドルの寄付 Sponsors (氏名等略)  
1,000~2,499 ドルの寄付 Patrons (氏名等略)  
500~999 ドルの寄付 Partners (氏名等略)  
100~499 ドルの寄付 Advocates (氏名等略)